
黒、白。【短編編?】

音無 無音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

黒、白。【短編編？】

【著者名】

N5056T

【音無 無音】

【あらすじ】

絶無^{ゼロゼ}は何も司らない神のような存在であった。彼は人を改心させるために

成績毛普通。

身長も、体重も、普通。

何もかもが普通

普通 普通 普通 普通 普通

異常つてなんんですか？

『教えよつかあ』

小柄な女の子のよしな少年かふと現れた
何この子……?

『僕はゼロ。君は三井伊理さん？』

「失礼ね・・・・・、こいはビーよ?」

支那の文化

そうか、私

部活の帰りに車にひかれて……。
普通、だ、なあ。

『さてえ！本題に入ろつかあ

ふつと世界が白くなつた。

「何？」「うるさい？」

と、慌てていると何かが現ってきた。

「あれは私の中学?」

去年新築したばかりだ、こと、関係ないからもう死んでるし。

私は学校に入り、自分の教室へと足を向けていた。

不思議・・・・・。

操られてるみたいに自然に足が・・・・・。
しばらくすると、声が聞こえてきた。

「 です。さすがですね。三井さん」

私?

覗いてみると、教室で私に注目が集まっていた。

『 には、君が「天才だったら」の世界。』

「え?」

『 次は黒の世界だよ』

また世界が変わった。

今度は黒?

また同じ教室だった。

「今度は何?」

また注目は私。

「なんなんですか!三井さん!」

怒られる・・・・!?

「こんな問題もわからないんですか!?
もう一度やり直したらどうです!?」

気持ち悪かった。

劣り過ぎている自分が。わたし

あんな簡単な問題で、手間取るなんて・・・・。

『 だつた?』

「 」

また出た

「別に」 こいつの顔、何か無性にイライラするのよね。

『なんとも思わなかつたの？本当に？』

おかしいなあ、と首を傾げていた。

卷之三

「なにかー。ちやんと言ひたぢやないー。」

世界は灰色に變つた。

「…………な？！」

卷之六

ああ、そうだ。

和漢普通字

『普通がどうなの?』

「どう……だ？ け？」

今昔集

なんで、い。」

「さあさ、お次はこれだ」

ムロ

私の足元が“白い闇”で覆われていく。

『君はまだ生き続けられる。』

—

『普通は普通なりに素晴らしい普通でいきてちょーだいね』

彼の微笑みはあまりのも凍えるようだった。

次に、目が覚めたのは病院のベッドの上。
両親は泣いて私にすがつた。

なんか、ごめんなさい。

いい夢、見たな・・・・・。

(後書き)

なんか、マジで、「あんなやつ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5056t/>

黒、白。【短編編?】

2011年10月3日11時20分発行